

【内容】

- ・インタビュー「出居番丸西」
- ・イベント開催報告
- ・インフォメーションコーナー

松本市市民活動サポートセンター

サポートセンター通信

110

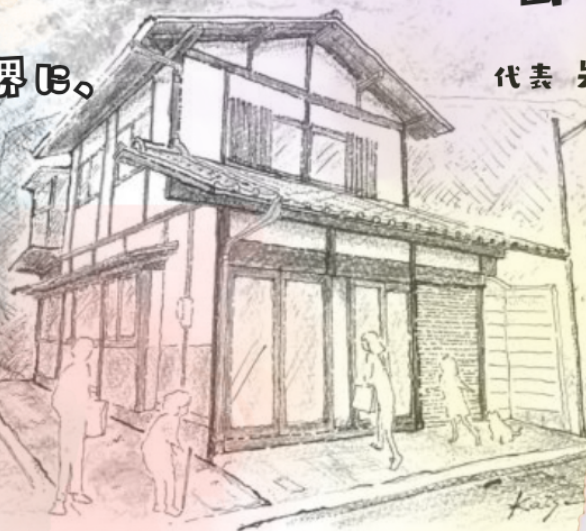
【お問合せ】〒390-0874 松本市大手3-8-13 松本市役所大手事務所2階 TEL/FAX 0263-88-2988 MAIL kyoudou@city.matsumoto.lg.jp

一歩外に出て。
いつもと違う人、世界に。
出会ってみる。

プロフィール

岩田 清美

松本市内の通信制高校の教頭や予備校での不登校の子どもたちのサポートを行ない、2022年に、誰もが集えるまなびの場「出居番丸西」を立ち上げ、不登校の子どもたちや親のサポートを行っている。



出居番丸西

代表 岩田 清美 さん



誰もが集えるまなびの場

通信制高校と予備校で、不登校の子どもたちに関わってきた岩田清美さん。どのような想いで「出居番丸西」を立ち上げ活動されているのかをお聞きしました。

【林】不登校の子どもに関わるようになったきっかけを教えてください。

【岩田】信濃むつみ高等学校は高校なので、高校って進路の選択っていうか、次にどうするかについていた時に、社会に出るだとか、勉強したいから進学するとか就職するとか、いろんな選択肢があるんですね。

その時に生徒さんに大学を受験してみないか、就職試験を受けてみないかと聞くと、「高校受験もしていないのにそんなのできるわけがない」と言う子がいて。高校受験がそんなに大きなイベントなら、なんとかしてそこを乗り越えられるようにしたい。結果がどうかっていうことではなくて、そこをどう乗り越えるか。そういう後押しができるか。そういう話していただんです。それなら予備校でそれをやりたいっていう話があったので、予備校で活動を始めました。なので元々は主に高校受験をしたいっていう子の後押しから始まったんですよ。

ただ行き先を決めてるだけで、進路を考えるってそこじゃないだろうっていうのを私たちもよく言っていて。どうやって生きるかだろうと話はしてるけど、目先のことも大事ですよ。

【林】3年前に、出居番丸西を立ち上げられたんですね。

【岩田】苦しいお家をいっぱい見てきたので。お母さんたちのサポートもしたい。子どもを預かるよとかできたとか。そういうことができたりするようなみんなが集まって来れる所だったりとか、大勢でご飯食べたとかできる所。そういうのがあるといいなってずっと思っていて、お家を探してたわけです。

ここはもともと表具屋さんだったので、1階が作業場になっていて。玄関がサッシで素通しだったんですよ。普通のお家と違って扉じゃなくて、中が丸見えみたい。私、私たちがここでやっていることが、社会に向けて発信できないう意味がないと思っていて。子どもを安心安全な場所で預かってお返しするっていうのは一番なんですけど少し社会を変えたいっていう気持ちがあるんです。こういう所でまなぶことも、まなぶっていうことなんだよって大人たちが

人と出会う。モノやコトと出会う。 「助かりあって」生きている。



見ていく、街の人たちに見えてもらって、これでもいいんだって少しずつ変わっていく方が増えていると、学校じゃない選択をしているということに対して寛容になってもらえるかなと思っていて。中から外を見て、子どもたちが学校の先生じゃない、お母さんやお父さんじゃない、大人ってこんなにいるんだっていろいろのを見つていうのも大事だし。

場所になっていくんだって。こういうこともありなんだと知ってもらってという。サッシは「社会の窓」なんです。

【林】大事にしていることは何ですか。

【岩田】お母さんの相談にのることが多いんですけど、お家の中のパズルのピースがガッチガチになっちゃって、どこも動かないみたいなどころって多いんですね。その時に子どものピースを変えよう、お母さんがちょっと緩まると他も緩みが出てきて、みんなのパズルのピースが少しずつ動くようになってくるんですよ。



私の目標は「子どもたちの自立」「お母さんの自立」「出居番丸西の自立」。お母さんのサポートができるといいなと思っています。子どもとかお母さんもそうだけど街のみんなが助かり合える関係になるってことですよね。

今の時代の背景もあるのかもしれないけど、「お母さんでしかない自分」しか持たなくて、お母さん役はその時期で比率は高くなるかもしれないけど、お母さんだけがあなたの人生じゃない。その呪縛から解けない。少し社会に目が向くようにしたいんです。

【林】まなびの場ですね。

【岩田】人と出会うこと、モノや



インタビュー動画



インスタグラム



ホームページ



コトと出会うこと。いろんなものが出会うことだと思う。そこからスタートしていくんだと思うんですよ。

この存在自体が文化になるみたいな、そんな所になっていくといいなと思っています。



プラチナ講演会 ― いつまでも輝くプラチナ人生 ― を終えて



去る、3月1日（土）に「プラチナ講演会」を開催しました。私たちは、プラチナ世代（歳月を重ねて輝くシニア世代）の生きがいと社会貢献活動への参加を促すための事業を実施しており、今回の講演会は、山梨県（北杜清里）出身で、複合観光施設「萌木の村」の各種事業を通じ、清里地域のまちづくり等多方面で活躍している船木上次（ふなき じょうじ）さんを講師にお招きしました。

船木さんは、幼少期に“清里開拓の父”と呼ばれたポール・ラッシュ博士からホスピタリティーを学びました。最初に取り組んだのは、1971年に清里高原で「ROCK」という喫茶店を開業したことでした。次はホテル建設に奮闘し、開業のための交渉では門前払いされてもひるまず、3回目でOKを頂いた熱意が人を動かし、現在までの色々な形に現れて今の萌木の村となり、清里の活性化に成功しました。

「出会いから始まる私の人生」と題した講演は、船木さんが現在に至るまでの人生で出会った素晴らしい人々について、また、オルゴール博物館、野外フィールドバレーといった芸術世界の広がりや清里の歴史、現在のまちづくりについて語っていただきました。

2時間余りステージに立ったまま、年齢を感じさせないはつらつとした大きな声で、トレードマークのスーパーマンTシャツを着て話す船木さんの言葉は、格式張らず誰にでもわかるような口調で話に引き込まれました。

参加者からは「講演会良かったよ。船木さんは本当にすごい方だね。」「船木さんの出会いは、船木さんに魅力があったからだと思った。」「故郷の将来のために、毎年子供たちに世界を知ってもらおう活動を行ってきたが、子供たちは世界へ飛び立ってしまったと笑いながら話す船木さんが印象的でした。」などの声が聞かれました。

そして感銘を受けたのは、「出会いはどこでもあるし、きっかけはどこにも転がっている。人生のスタートラインは年齢ではない」「やりたいと思ったらやっちゃうんだ」「多くの出会いに助けられた」と豪語されていたことでした。これらの言葉は、シニア世代だけでなく全世代の皆さんへのメッセージとなり、これからの“生きがいづくり”のヒントになっていただければ幸いです。

私たちも萌木の村へ行って見たくなりました。皆さんも足を運んでみては如何ですか。（プラチナサポーターズ松本）



市民活動セミナーを開催しました

ネット情報が進化する今、日常生活や市民活動などで役立つSNS技術を身に着け、市民活動等がしやすくなるためのセミナーを、3月12日（水）、3月19日（水）に開催しました。

SNSプランナー・デザイナー、いしだ ゆずま先生から「LINEの送受信・グループLINEの使い方」と「Instagramの登録から投稿するまでの使い方」を学びました。情報共有としてLINE、情報発信としてInstagramを参加者32名の皆さんが使えるようになり、今後の活動に活かしていただける機会となりました。

活動にSNSを活用していきたい方、使い方を知りたい方は、市民活動サポートセンターへお気軽にお声がけください。



イベント・助成金・活動に役立つ書籍をご紹介します！ 『インフォメーション』コーナー

トヨタ財団国内助成2025 説明会 in 長野

トヨタ財団国内助成プログラムの募集がスタートします。テーマは「新常态における新たな着想に基づく自治型社会の推進」。市民が自らの手で地域や社会の新たな姿を創り出していく取り組みを応援します。

ついては、公募説明会を長野市で開催します。助成プログラムの説明だけでなく、過去の事例も共有し、企画書づくりのワークショップと個別相談もできます。ぜひご参加ください。

○日時：5月11日（日）13:30～17:00

13:30-15:30 公募説明会

（Q&A、ワーク「企画書を書いてみよう！」含む
助成プログラムの説明・事例紹介「NPO法人 場作りネット」

15:40-17:00 説明会終了後、個別相談

（事前予約制・先着順・メイン会場＆サテライト会場のみ）
20分/1団体 6枠まで ①15:40～ / ②16:05～ / ③16:30～

○場所：主会場

長野市生涯学習センター 3階第1学習室
（長野県長野市鶴賀問御所町1271-3）

サテライト会場（主会場からオンラインで接続予定です）

【東信】佐久市生涯学習センター 2階 第1会議室

【中信】塩尻市市民交流センター（えんぱーく）2階 ICTルーム

【南信】こまがね市民活動支援センターぱとな

○対象：地域における自治の推進に取り組みたい団体

（長野県をはじめ近隣県からのご参加も歓迎です）

○参加費：無料

<共催>公益法人トヨタ財団／認定特定非営利活動法人 長野県NPOセンター

<協力>市民交流センターえんぱーく（塩尻市）／特定非営利活動法人 えんのわ（塩尻市）／こまがね市民活動支援センターぱとな（駒ヶ根市）／こまがね市民活動支援協会（駒ヶ根市）／佐久市市民活動サポートセンター（佐久市）／市民協働サポートセンター（長野市）他

詳細はこちらからご確認ください

【助成金情報】トヨタ財団国内助成の公募説明会in長野 / 長野県NPOセンター



オススメ本

5日間で言葉が「思いつかない」「まとまらない」「伝わらない」がなくなる本

著者：ひきた よしあき（大和出版）



博報堂スピーチライターが、5日間で「思いを言葉にする力」が身につく25のメソッドを紹介。表現するために大事なことを学べます。

これからの「社会の変え方」を、探しにいこう。

著者：SSIR Japan（SSIR Japan）



社会課題が複雑になっていく中でも、社会をよくする解決策は今現在も生まれています。ソーシャルイノベーションの実践で役立つ事例や知恵を学べます。

「お湯はある」が4月からスタートしました！



土日AMの気まぐれ開催
お湯はある

市民活動団体同士の交流の場「お湯はある」が、4月からスタートしました。これから市民活動を始めたい方や、「何か」をしたいと思っている方もご参加いただけます。その名の通り、お湯と茶器をご用意してありますので、飲みたいものをお持ちください。

毎月1回、開催します。お気軽にふらっとお立ち寄りください。

「お湯はある」のInstagramを開設しました。

フォローお待ちしております。（次回は5/18（日）10時～）

お湯はある
Instagram

